

先日、「長崎港元船地区整備構想検討会議」が設立されました。

整備構想概要は「長崎駅ビル開発」「松が枝地区2バース化事業」など、長崎市市街地周辺の姿が大きく変わるなか、元船地区においても課題を解決しつつ、周辺地区と調和した「みなとまちづくり」を検討していく必要があるためです。

具体には

「各施設の老朽化」「バリアフリー非対応」「荷捌きの非効率性」

「交通渋滞や歩行者の回遊性不足や安全性」

「臨海部としての賑わい不足や緑地空間・海への展望場の不足」等が課題として挙げられています。

以前からの課題であり、現在長崎市でも「長崎都心まちづくり構想」を今年度中に策定予定のなかでは良いタイミングでの設立だと思えます。

今後のスケジュールも数回の検討を重ね、来年2月には「長崎港元船地区整備構想」公表とありスピード感も良です。

設立会議には傍聴という形でしか参加できませんでしたので、個人の意見として

- 貨物物流の代替え地が他に無いのかという視点
- せっかくならば出島ワーフのリニューアルも検討してほしい
- 長崎駅周辺からの人流を促進する工夫が必要ではないか
- 財源見込み 等々について議会のなかで議論していきます。

皆様からのご意見もお聞きしたく、アイデアフラッシュでも構いませんので是非お知らせください。

※一部、思慮が足りない内容を掲載しましたので、削除いたしました。お詫び申し上げます。

整備構想コンセプト（案）-元船地区の現況-

	施設	経過年数（2023年度時点）
①	元船C棟上屋（ドラゴンプロムナード）	25
②	元船B棟上屋	29
③	長崎港ターミナル駐車場（立体）	28
④	長崎港ターミナルビル	28
⑤	大波止ビル	54
⑥	フェリー用可動橋	28
⑦	ターミナルボーディングブリッジ	28

